



所属施設： _____ 受験番号： _____

氏名： _____

理念・運営	計算	知識	合計
/24	/16	/60	/100

≪理念・運営問題≫ 理想所要時間 20 分

1. 2025 年には、800 万人の「団塊の世代」が 75 歳以上の後期高齢者となります。その結果 4 人に 1 人が後期高齢者となり、超高齢化が進むことを、社会では「2025 年問題」と呼び、準備・対策が叫ばれています。超高齢化社会に関する問題について、以下の問いに答えなさい。（7）

（1）2025 年には介護難民（介護が必要なのに適切な介護サービスが受けられない高齢者）、老老介護（介護を行う側も受ける側も、双方が 65 歳以上）、認知介護（老老介護の中でも双方が認知症であるという危険な介護状況）等の問題が顕在化するとされています。これらの問題を抱える方に対して、在宅サービスを提供する介護事業所として実施できる、地域にむけた取り組みを答えなさい。＊介護保険のルールは考えず、自由な発想で答えなさい。（配点 3）

以下のテーマの中から 1 つ選択してください

介護難民 ・ 老老介護 ・ 認知介護

内 容	
-----	--

（2）あなたはデイサービスの管理者です。これからの中心顧客になる「団塊の世代」の方に喜んで利用していただけるよう、新しいサービスを企画することになりました。これまで中心顧客であった層（昭和 1 ケタ～20 年生まれ）と団塊の世代の指向の違いをあげ、団塊の世代に好まれる新しいサービス内容を答えなさい。（配点 2×2）

指向の違い	
サービス内容	

2. デイサービスや訪問介護、訪問看護など、車両での送迎や移動を必要とする介護サービスでは、事故発生が避けられない現状があります。具体例としては 2020 年には佐賀県で、2019 年には富山県で、死亡事故が発生しています。事故によっては「運転手の刑事責任」、「事業者の民事賠償責任」、「介護事業所への行政処分」が下ることもあり、運転するスタッフの安全運転に対する意識と施設としての安全管理が重要です。高齢者施設における運転業務について以下の問いに答えなさい。（9）

（1）2022 年 10 月より、運転業務を担うスタッフに対して、機材を使用したアルコールチェックが義務化されるなど、安全運転・事故予防を推進する動きが進んでいます。しかし、事故となり得る要因は様々で、リスクを 1 つでも減らすことが必要です。運転業務において発生しやすい事故原因をあげ、その事故原因に対して行なえる事故予防対策を記入しなさい。（配点 2）

事故原因	
事故予防策	

（2）あなたは通所介護のスタッフです。ある日の夕方、あなたはデイサービスの送迎車を運転していました。赤信号で停車していると後ろにいた自動車が、あなたの運転している自動車の後方に衝突してくる事故が起きました。お客様が 1 名乗っていましたが、相手の自動車は徐行での接触であったため大きな衝撃はなく、お客様は怪我や痛みはないとのこと。あなた自身にも特に外傷や痛みもありません。あなたはこの後、どのような対応を行いますか。事故直後、後日の対応それぞれ 1 つずつ答えなさい。

※「施設に報告する」、「上司に報告する」、「警察を呼ぶ」以外で答えること

（配点 2×2）

※お客様の状態確認は済んでおり、病院への搬送の必要はないものとする。



事故直後	
後日	

(3) 車両を使用する介護サービスは、交通マナーを守らないと、近隣住民から様々な苦情が寄せられる可能性があります。社名を記載した車両を運転することは会社のブランドを背負っているということです。そのことを認識したうえで、下記の問題に答えなさい。

下記はあなたが働いているデイサービスへの苦情内容です。今後このような苦情が発生しないよう、デイサービスの送迎ドライバーを対象に 1 時間の研修を行うことにしました。苦情内容をもとにどのような研修を行うか、下記に研修計画を作成しなさい。(配点 3)

【苦情内容】 匿名希望 女性

〇〇町に住んでいる者だが、毎朝そちらのデイサービスの車が私の住んでいる家の近くに車を止めて、近所の高齢者の送り迎えに来ている。家の前は道も細く、車がギリギリ 2 台通るくらいの道幅しかないが、いつもそちらのデイサービスの車がドンと真ん中に止めているため、自分が車を出したくても出せない。今日そのことを送迎に来ていたドライバーの方に伝えたが「こちらは福祉の仕事をしているので優先だ」と強い口調で言い返された。またそのドライバーの態度も横柄でサングラスをしているなど威圧的な態度だった。そんな人が働いている介護施設で高齢の方が安心して過ごせているのか。甚だ疑問だ。

研修名：

【 研修内容 】

3. 高齢化や家族のかたちの変化によって、人生の後半期を単身で過ごす人が増えています。私たちが関わるお客様も家族のいない方が増加しており、家族のいない方ならではの配慮が必要とされています。単身高齢者の支援について、次の問いに答えなさい。(8)

【問題】 あなたは特別養護老人ホームとデイサービスを運営する高齢者施設の管理者です。近年、単身の利用者に後見人がついているケースが増加しており、普段から後見人と連携をとる機会が増えていることから、成年後見制度についての知識を深めることが必要になっています。あなたの高齢者施設のサービス顧客の状況について調べたところ、契約の身元保証人について以下の表のような内訳になりました。表を参考に次の問題に答えなさい。

【身元保証人の続柄内訳(単位：人)】

	親族	後見人	その他(知人、ケアマネ等)	保証人なし(本人のみ)
特別養護老人ホーム(100床)	75	15	2	8
デイサービス(登録者 200 名)	120	30	15	35

(1) 後見人と連携をとるためには後見人の役割や仕事を知っておく必要があります。後見人が認知症の本人に代わってできることを答えなさい。(配点 2)

(2) 通常、身元保証人が行うことでも、後見人にはできないこともあります。その内容を具体的に答えなさい。(配点 2)



- (3) 身寄りのない高齢者が老後に不安を抱くことなく、私たちのサービスを利用するために、この度「単身高齢者支援」に関するオプションサービスを実施することになりました。要介護認定を受けながら単身で生活している高齢者を対象にする際、想定される課題やニーズ、その課題に対するオプションサービスの内容を答えなさい。（配点 2×2）
- * 介護保険のルールは考えず、自由な発想で答えなさい。

想定できる課題やニーズ
実施できるオプションサービス

「計算問題」 理想所要時間 20 分

あなたは、特養の責任者を務めています。下の表はあなたが所属する特養の上半期の実績と下半期の予算です。
下の表をもとに問題に答えなさい。

※小数点以下の取り扱いについては設問ごとに異なります。設問ごとの指示に従ってください。

※特養入所定員は 100 名。

※2 月は 28 日、年間 365 日とし、上半期は 1 8 3 日、下半期は 182 日とする。

※平均予算単価……予算での 1 床あたりの平均単価は 13, 300 円で算出

	上半期予算	上半期実績	下半期予算
収入	236,088,300 円	231,897,600 円	234,798,200 円
稼働率	97%	96%	97%
空きベッド数合計 (内入院以外の空きベッド数)	549 床	732 床 (280 床)	546 床
退所者	12 名	14 名	14 名
月平均の従業員常勤換算数	55 名	55.2 名	55 名

1. 下半期で予算を達成するために分析を行いました。以下の問いに答えなさい。

- 1) 上半期、全てのベッド数は（ ）床であり、上半期実績である 9 6 % の稼働率の場合、入居ベッド数は（ ）床となる。
(配点 1×2)

- 2) 上半期の収入実績から、1 床あたりの収入は（ ）円となり、予算の平均単価である 13,300 円より（ ）円低下している。
(配点 1)

3) 平均単価（1 床あたりの収入）を回復させるためにできることを記入しなさい。(配点 1)

--

- 4) 3) の取り組みを実施することで、下半期の平均単価は予算単価に回復すると予測し、年間予算である 470,886,500 円を達成するためには、下半期収入を（ ）円にする必要があり、その場合下半期の稼働率は（ ）%（※小数点第二位切り上げ）となる。(配点 1×2)



5) 上半期予算である稼働率 97%に対する人員配置（常勤換算 55 名）を、稼働率 96%でも同様の人員配置状況とした場合、1 か月の常勤換算は（ ）名となり（※小数点第二位以下切り上げ）、常勤一人当たりの経費が 35 万とした場合、上半期で（ ）円の過剰な支出があった。（配点 2×2）

2. 上半期の空床状況を分析したところ、退所から次の入居までの空床が 280 床あることが判明しました。また、入居申し込み者のうち、死亡・入院・サービス内容による受け入れ困難等の理由で、65%は入居に至っていませんでした。

1) 上記問題文の状況から、下半期の退所者を 14 名と予測するとき、必要な申し込み件数は（ ）件である。（配点 2）

2) 厚生労働省 令和 4 年 12 月 19 日発表の調査では、「特養のベッドに空きがある」と答えた市町村は、19.8%であり、特養であっても倒産、吸収合併する状況となっており、一昔前とは大きく変化しています。なぜ、このような状況となったのか、社会情勢を踏まえ、理由を記入しなさい。（配点 2）

--

3) 今後、特養の新規入居者を獲得していく状況が厳しくなっていく中で、地域での広報活動が必要であると考えました。地域住民に施設の存在や取り組みを知ってもらうための具体的な活動内容を記入しなさい。（配点 2）

--

≪知識問題≫ 理想所要時間 50 分

1. あなたは居宅介護支援事業所のケアマネジャーです。ある日、「介護保険の申請について聞きたい」と電話がかかってきました。会話の内容を読み、以下の問いに答えなさい。（8）

A 様：75 歳の母親の介護保険の申請をしたいのですが、どこに相談したら良いか分からなくて。こちらでも申請は可能でしょうか？ あなた：大丈夫ですよ。申請代行といって、私がご本人に代わって申請をすることが可能です。申請書に介護保険被保険証の添付が必要になります。 A 様：自宅にあると思います。自宅に訪問して調査があると聞いたのですが。 あなた：はい。認定調査と言って、 <u>都道府県</u> から調査員が訪問して聞き取りを行います。また主治医意見書が必要になりますので、依頼先の医療機関と主治医名を申請書に記入してください。 A 様：認定されるまでに他にも何かあるのですか？ あなた：介護保険審査会による二次判定があり、要介護認定の審査・判定が行われます。結果は、申請から原則 60 日以内に申請者に通知されますよ。 A 様：時間がかかるのですね。母は家から出ることが少なくなっていたのですが、先日見学したデイサービスを気に入って、すぐにでも行ってみたいと言うのですが。 あなた：要介護認定の効力は、認定決定の通知があった日から生じます。暫定的にケアプランを作成すれば、介護保険のサービスを現金給付の形で受けられますよ。 A 様：そうなのですね！それは助かります。是非お願いします。
--

(1) 会話のなかに、誤りが 4 か所あります。例①にならって上記会話文に番号と下線を書き入れ、下記解答欄にそれぞれの適切な語句を記入しなさい。（配点 1×4）

【例】 ① 市町村	②	③
④	⑤	



(2) 主治医意見書の依頼先として最も適切な医療関係機関をアルファベットで 1 つ選び、選んだ理由を答えなさい。(配点 1×2)

現在の疾患	医療関係機関	受診頻度
変形性膝関節症	A 整形外科	月 1 回
白内障	B 眼科	月 1 回
脳梗塞後遺症	C 整骨院	月 2 回
不整脈	D 医療センター	3 か月に 1 回

【主治医意見書の依頼先】	【選んだ理由】
--------------	---------

(3) 暫定ケアプランを作成し、要介護認定の決定前に介護保険サービスを利用する場合に想定されるリスクを説明しなさい。(配点 2)

--

2. 介護保険制度における償還払いについて、不適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。(配点 1×2)

- ① 介護サービス計画書の作成前、または作成せずに介護サービスを利用した場合、償還払いの対象とならない。
- ② 介護保険料の支払いを一定期間滞納した第 1 号被保険者が介護サービスを利用した場合、償還払いの対象とならない。
- ③ 高額介護サービス費は、世帯当たりの利用者負担合計が政令で定める一定額を超えた場合に償還払いで保険給付される。
- ④ 福祉用具購入費の支給限度基準額は、同一年度（4 月から翌年 3 月まで）に 10 万円で翌年度には同額の再支給が可能である。
- ⑤ 住宅改修費の支給限度基準額は同一住宅で 20 万円であり、住民票を移す転居や要介護度が 3 段階上がった場合は再支給される。

--	--

3. 在宅医療について、適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。(配点 1×2)

- ① インスリン注射には高血糖を引き起こす副作用がある為、適切な投与量で注射を行う。
- ② 人工呼吸療法は、口鼻マスクを装着した侵襲的人工呼吸療法と、気管カニューレを挿入した非侵襲的人工呼吸療法がある。
- ③ 在宅酸素療法は、慢性閉塞性肺疾患などによる呼吸不全の治療に用いられ、携帯酸素ボンベを使用することで外出が可能である。
- ④ 自己導尿は膀胱内にカテーテルを挿入し排尿する方法であるが、バルーンカテーテルと比較し感染リスクが高いデメリットがある。
- ⑤ 在宅中心静脈栄養法は、高カロリー輸液剤を小型のポンプを使って中心静脈に送れることで、仕事などの行動的な活動が可能になる。

--	--

4. 経管栄養法について、以下の問いに答えなさい。(4)

(1) 経管栄養を行う際に留意すべき合併症や対応について、適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。(配点 1×2)

- ① 口腔内が乾燥し口臭が発生しやすいため、経管栄養終了後に水分を十分含ませたスポンジブラシで口腔ケアを行った。
- ② 経管栄養を行っている利用者であっても、口から少しでも食べることができる場合には経口で食事を行った。
- ③ 胃ろうは、少量でも栄養バランスの取れた高カロリーの食事を消化吸収良く摂取でき、胃・食道への逆流が起こりにくいメリットがある。
- ④ 経管栄養を行っている利用者の誤嚥性肺炎は、経管栄養チューブのサイズが細すぎることによって栄養剤が逆流して起こる場合がある。
- ⑤ 経管栄養の使用者に下痢が続いていたので、注入速度を遅くすることと経管栄養剤を希釈する必要性を考えた。

--	--

(2) 経管栄養注入時の観察ポイントとして、「経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう）手技」と「利用者の状態」に分けて、解答例を参考にそれぞれ 1 つずつ答えなさい。

(配点 1×2)

対象	トラブル
経管栄養	【解答例】 チューブの抜去や胃ろうの脱落がないか。
利用者	【解答例】 嘔吐や嘔気の有無



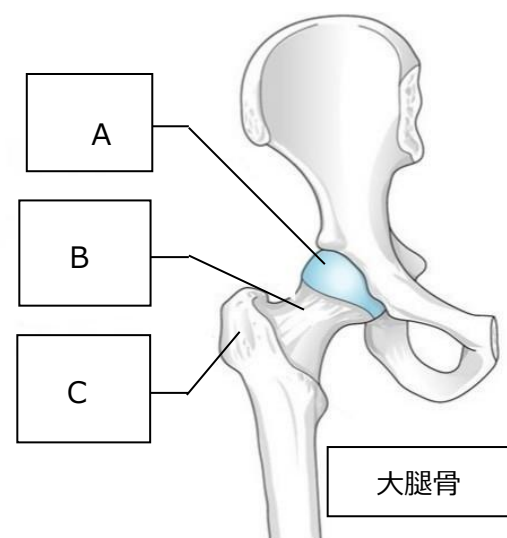
5. 2019 年国民生活基礎調査では、介護が必要となったおもな原因は、高齢による衰弱 12.8%、骨折・転倒 12.5%、関節疾患 10.8%などで筋骨格系疾患および廃用症候群が全体の 37.6%を占めています。このデータをふまえて、以下の問いに答えなさい。(7)

(1) 筋骨格の疾患について、以下の説明文に合うようにそれぞれの疾患名を記入しなさい。(配点 1×4)

筋骨格系の疾患	原因・特徴	症状
①	軟骨の変性、体重増加、筋力低下	関節の痛み、拘縮 階段を昇る時より降りる時が厳しい
②	自己免疫機構の異常 局所に限定しない多発性疾患	関節の痛み、腫れ、変形 初期は手足の指関節に症状が出る
③	カルシウム不足、運動不足、内分泌疾患など 閉経後の女性に多い	背中が丸くなる、身長が低くなる
④	椎間板の変性、骨の変形、靱帯の緩み	間欠性跛行を伴う 背中、腰の痛み

(2) 高齢者が転倒した際に最も多い骨折部位は、股関節を構成している骨です。以下のイラスト内 A～C の名称の組み合わせとして正しいものを 1 つ選び、記号で答えなさい。(配点 1)

- ① A： 大腿骨頭、 B： 大腿骨頸部、 C： 大転子
 ② A： 大腿骨頸部、 B： 大腿骨頭、 C： 大転子
 ③ A： 大転子、 B： 大腿骨頸部、 C： 大腿骨頭
 ④ A： 大腿骨頸部、 B： 大転子、 C： 大腿骨頭



(3) 骨折後によく起こる廃用性症候群の予防には、活動量の増加が望ましいとされています。廃用性症候群の症状と予防法を例にならって答えなさい。(配点 2)

廃用性症候群の症状	予防法
【例】 関節拘縮	麻痺側の手でタオルなどを握る機能訓練

6. 感染症について、以下の問いに答えなさい。(9)

(1) 新型コロナウイルス感染症が重症化しやすい基礎疾患と、その症状について () 内に適切な語句を別紙語群表から選び、答えなさい。(配点 1×6)

基礎疾患	症状
心血管疾患	(①) によって血管の内腔が狭窄し臓器への血液の供給が不足する。
(②))	PM2.5 などの有害物質を吸い込むことで肺が炎症を起こす。(③)) の人に多い。
慢性腎臓病	病状が進行すると(④)) や腎臓移植が必要となる。
糖尿病	(⑤)) でつくられるインスリンの作用不足により高血糖が慢性的に続く。
高血圧症	血圧が高い病態。(⑥)) や内分泌の異常などが原因である二次性高血圧症と、直接の原因がはっきりと分からない本態性高血圧症の 2 つに分類される。

(2) スタンダード・プリコーションの 1 つとして、個人防護具 (PPE) の着用が挙げられます。医療・介護現場における感染経路を遮断するために使用する物品名とその物品を使用する事で得られる効果を答えなさい。(配点 1 + 2)



個人防護具（PPE）	感染経路遮断における効果

7. 認知症に関わる疾患と認知症の症状について、以下の問いに答えなさい。（11）

（1）認知症の原因疾患と認知障害の程度について（ ）内に適切な語句を別紙語群表から選び、答えなさい。（配点 1×5）

原因疾患・認知障害	症状
アルツハイマー型認知症	(①)領域の神経細胞が脱落・消失する為、(②)記憶が障害される。 小脳の萎縮は少なく、手続き記憶は障害されにくい。
レビー小体型認知症	現実的で繰り返し起こる(③)体験が特徴で、見えたものに対するリアクションを伴う。 パーキンソン症状や認知機能の動揺、失神、これらの症状の(④)変動などがみられる。
認知障害 初期	不安、うつ状態、無気力の心理症状が発生する。 物盗られ妄想は、中核症状の(⑤)障害と思考能力の低下によって起こる。
認知障害 重度	ADL の障害が進み、BPSD の発生が少なくなる。

（2）認知症の中期から進行期は ADL の低下に伴い介助が必要となります。この時、介助者に対して介護抵抗や暴言・暴力が出てくる場合があります。以下の事例を読み、介護拒否をする認知症の人への適切な対応方法を答えなさい。

〈介護拒否のある A さんの事例〉

特養スタッフのあなたは、入居者の A さんが、食後に上着を汚した状態で廊下を歩いているのを発見しました。あなたは A さんの手を引いて自室に誘導し、服を着替えさせようと上着に手をかけたところ、A さんは「自分で着替えられるから良い。放っておいて！」と手を振り払い自室を出て行ってしまいました。その後、A さんは着替えをしないままフロアで過ごしていて、先ほどの様な怒った様子は見られません。この後、更衣介助を再度対応する際に、あなたはどのようなことに気を付けて対応しますか。気を付けるポイントをふまえた具体的な対応方法を答えなさい。（配点 2）

--

（3）認知症の治療に非薬物療法があります。以下の技法の中から 1 つ選んで、その内容について説明しなさい。（配点 2）

【 ①回想法 ②バリデーション療法 ③現実見当識練習（リアリティ・オリエンテーション） 】

技法	内容

（4）若年性認知症は 18 歳から 64 歳までに認知症を発症した場合で、高齢者とは違う生活上の課題があります。若年性認知症の生活上の課題について考えられるものを 2 つ答えなさい。（配点 1×2）

①	
②	

8. あなたは介護施設の相談員です。施設での看取りについて、以下の問いに答えなさい。（11）

（1）看取り介護加算の内容について（ ）内を埋めなさい。（配点 1×2）

看取り介護加算は、2021 年の介護報酬改定により、ご入居者が死亡した日から遡って最大 30 日までの対象期間が、（①）日前までの対象期間となる新区分がつけられた。

看取り加算は特別養護老人ホームの他に、（②）などで基準を満たすことで算定ができる。



(2) 看取り介護加算の算定をするために実施しなければならない事を 1 つ答えなさい。(配点 2)

例) 施設入所時に、入居者と家族に、看取りに関して定めた指針の内容を説明する必要がある。

(3) 入居者の家族から「看取りケアとターミナルケアの違いについて教えてください」と質問がありました。ケア内容の違いを踏まえて説明しなさい。(配点 2)

(4) 終末期の呼吸や身体状態の変化について、①～⑤の空欄に適切な語句を別紙語群表から選び、答えなさい。(配点 1×5)

- ① 呼吸が浅くなると脳が低酸素状態となり、()が分泌され苦痛が和らぐ
- ② ()は口をパクパクと動かす様子が見られ、死の数時間前に多く起こる
- ③ ()は 10～30 秒ほど呼吸が止まり、浅い呼吸と深く大きな呼吸を繰り返す
- ④ 血液循環や体液機能調節の低下により、()から浮腫が現れるようになる
- ⑤ 意識状態は低下して、傾眠・混迷・昏睡という状態に陥るが、()は機能している。

9. 脳梗塞後遺症ケースの事例を読み、介護サービスや病気の特徴について、以下の問いに答えなさい。(6)

佐藤さん(68 歳、男性)は妻と 2 人暮らし。佐藤さんは数年前から高血圧症で服薬管理を行っていましたが、ある日、激しい頭痛に襲われて救急搬送、脳出血の診断を受けて入院中です。右片麻痺と言語障害の後遺症があり、リハビリテーションを実施しています。状態が安定して、退院を勧められましたが、妻も仕事や持病があるので介護の不安を感じていて要介護認定を申請しました。要介護 3 となり、退院前に居宅介護支援事業所のケアマネジャーを紹介されました。

◆佐藤さん退院前のアセスメント記録

課題分析項目	状態
ADL	・立ち上がり、車椅子への乗降は可能。移動は車椅子を自走 ・入浴は、入院中は機械浴
食事内容	・主食は軟飯、副食はやわらかめのもの
コミュニケーション能力	・言語障害があり単語しか話せず、通じないとイライラする ・以前は町内会に顔を出し、交流は苦手ではなかった
本人からの要望	・自宅で入浴したい ・トイレに 1 人で行けるようになりたい ・コミュニケーションが図れるようになりたい

(1) 退院前の担当者会議では、週 2 回の通所リハビリと週 1 回のデイサービスを中心に、居宅療養管理指導を月 1 回利用するケアプランが立案されました。

訪問リハビリなどの訪問系サービスではなく、通所系サービスを柱にしたケアプランの目的(通所サービスの利点)を答えなさい。(配点 2)

例) レクリエーション活動などを通じて社会交流の機会をもつことができる。

(2) 退院以降の ADL 状態をふまえて、自宅の環境整備もあわせて進めることとなりました。佐藤さんの退院時の ADL と生活におけるニーズをもとに、福祉用具をレンタルする物と購入する物を提案しなさい。自宅内の必要箇所には、住宅改修による手すり等がすでに設置されているものとします。(配点 1×2)

福祉用具貸与	福祉用具購入

(3) 高次脳機能障害の症状に対する対応方法で、不適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。(配点 1×2)

<症状> <対応方法>

- ① 失語 — 実物や使い方を見せる。言葉を短くして伝える
- ② 失認 — 約束事は紙に書いて渡す。目につきやすい所にポイントを書いておく
- ③ 注意障害 — 話す時はアイコンタクトを取ってから伝える。理解できたか確認する。注意して欲しいところにマーキングする
- ④ 抑制障害 — イライラや怒った時には分かりやすい言葉で注意し、冷静になれるように諭す
- ⑤ 半側空間無視 — 無視側の転倒などの危険因子を取り除く。気づいて欲しい部分にマーキングして目立たせる

--	--



【別紙】語群表 ※複数回使用可

介護保険 ・ 特定疾患 ・ 特定疾病 ・ 普通徴収 ・ 特別徴収

短期 ・ 長期 ・ 多く ・ 少なく ・ エピソード

感覚 ・ 幻聴 ・ 幻視 ・ 妄想 ・ 時間内

夜間 ・ 日内 ・ 実行機能 ・ 見当識 ・ 記憶

動脈瘤 ・ 動脈解離 ・ 動脈硬化 ・ 拡張 ・ 狭窄

自壊 ・ 飲酒 ・ 肥満 ・ 喫煙 ・ 輸血 ・ 透析

インスリン注射 ・ アドレナリン ・ エンドルフィン ・ ドーパミン

下顎呼吸 ・ チェーンストークス呼吸 ・ 死前喘鳴 ・ 失調性呼吸

上肢 ・ 下肢 ・ 臭覚 ・ 聴覚 ・ 触覚 ・ 腹部

慢性閉塞性肺疾患 ・ 結核 ・ 急性気管支炎 ・ 胆のう

脾臓 ・ 腎臓 ・ 肝臓 ・ 脾臓 ・ 肺 ・ 胃

視床下部 ・ 小脳 ・ 中脳 ・ 海馬 ・ 脊髄